

# 定例委員会の開催状況

第1 日 時 平成15年4月3日(木)  
午前10時 ~ 午後0時15分

第2 出席者 谷垣委員長  
渡邊、荻野、安崎、川口、大森各委員、  
長官、次長、生活安全局長、刑事局長、交通局長、警備局長、  
情報通信局長、総括審議官

## 第3 議事の概要

### 1 議題事項

- (1) 国家公安委員会委員長を代理する者の指定に係る互選について  
委員相互で互選を行い、4月10日から4月15日の渡邊委員の海外渡航期間中においては荻野委員を、渡邊委員帰国後は、渡邊委員を「委員長を代理する者」としてそれぞれ選出した。
- (2) 地方警務官の人事異動について  
警察庁から、「4月11日付け地方警務官1名の人事異動について発令していただきたい。」旨の説明がなされ、原案どおり決定した。
- (3) 平成15年春の叙勲に関する依頼書の提出について  
警察庁から、「平成15年春の叙勲候補者について、叙勲に関する依頼書を総理大臣宛に提出することとしたい。」旨の説明がなされ、

原案どおり決定した。

(4) 国家公安委員会への意見・要望文書等の措置について

国家公安委員会あての電子メール、書簡等について閲覧し、回答を要するか否かの判断を行った。回答を要するものについては、その内容を原案どおり了承した。

2 報告事項

(1) 警察庁長官に対する開示請求の措置について

警察庁から、4月1日までの間に警察庁長官に対してなされた開示請求の状況、当該請求に係る部分開示及び不開示決定の概要について報告がなされた。

(2) 平成14年中におけるけん銃使用事案について

警察庁から、警察官のけん銃使用事案件数が前年に比べ約2倍に増加したこと等平成14年中におけるけん銃使用事案について報告がなされた。

委員から、「非常に抑制的な使用から、「撃つべきときに撃つ」という大きな転換をしたが、心配されていた問題も起きなかったということで大変結構であると思う。「撃つべきときに撃つ」という判断能力は極めて重要であり、訓練も大変であると思うが、判断能力を養うためにどういった教養をすべきかという観点から、ここで調査した以外に、警察官が撃たなかったケースで警察官が撃った方が良かったのではないかというようなことの検討会や調査をしたことがあるか。」旨、質問があり、警察庁から、「そのようなデータに基づいた分析はしていないので調査の上、報告したい。ただ、急迫等の場合は予告なしでけん銃を撃つことができるが、実際はほとんど予告をして撃っているなど冷静に判断し、適正に使用していると言える。状況判断については、その場のあらゆる状況に対処できる必要があるので、映像射

撃ビデオ訓練装置の活用やけん銃重点訓練対象者等の訓練の充実等について検討をしていかなければならない。」旨、説明した。

### (3) 殉職事案の発生について

警察庁から、「徳島県警察の巡査長が、3月29日、護送業務を終え、捜査用車で帰署途中、徳島県阿南市<sup>あなん</sup>内の国道において、普通乗用車と正面衝突し、翌30日、収容先の病院で死亡、殉職した。」旨の報告がなされた。

委員から、「殉職事案の性質、態様によって賞じゅつ金の支給内容は変わるシステムになっているのか。」旨、質問があり、警察庁から、「例えば、まさに犯罪の被疑者を逮捕するなどの時に殉職した事案の場合、危険な状況下での警察官の果敢な職務執行をたたえるものとして賞じゅつ金の支給等の措置がとられている。なお、公務中においては、公務災害補償制度による公的補償等の措置は講じられる。」、「警察表彰規則に規定されているが、事案の性質等によって、賞じゅつ金の額が異なっている。」旨、説明した。

### (4) 国会の状況について

警察庁から、3月28日に行われた参議院予算委員会の状況等について報告がなされた。

### (5) 平成14年における風俗警察の現状について

警察庁から、風俗関係事犯の検挙件数及び検挙人員がいずれも前年より増加したこと等平成14年における風俗警察の現状について報告がなされた。

委員から、「「店舗型ファッションヘルス等」と比べて、「派遣型ファッションヘルス等」の届出件数が非常に多くなっているが、これは合法なのか。また、「風俗関係事犯に關与した外国人女性の状況」では、中国人、韓国人が多いが、ブラジル人はどうなのか。」旨、質問があり、警察庁から、「これらは届出対象である。風営適正化法上

では「風俗営業」と「性風俗関連特殊営業」等の2種類の類型があり、前者は、バー・キャバレー等であり、健全に行われれば、社会生活上有益なことがあるだろうということで許可対象としている。後者については、社会的有用性は認めないが、営業等の届出をさせて、少なくとも禁止区域では営業を絶対させないようにするとともに、営業の中で、例えば売春など違法事案が把握された場合に切り締まっていく対象ということである。また、風俗関係事犯に関与したブラジル人女性の状況については、確認をして後で報告させていただく。」旨、説明した。

(6) 現場急行支援システムの整備状況について

警察庁から、3月26日、全国で初めて大阪市でパトカー及び救急車に加えて血液搬送車も対象とするシステムが運用開始されたこと等現場急行支援システムの整備状況について報告がなされた。

(7) 米国等によるイラクに対する武力行使に伴う情勢と警備諸対策について

警察庁から、テロ等違法行為の未然防止を図るため、水際対策・情報収集の強化、重要施設に対する警戒警備等を強化していること等米国等によるイラクに対する武力行使に伴う情勢と警備諸対策について報告がなされた。

(8) 皇太子殿下の「第26回日本医学会総会・日本医学会100周年記念総会」御臨場等(福岡県)に伴う警衛警備について

警察庁から、「皇太子殿下は、4月5日から6日までの間、「第26回日本医学会総会・日本医学会100周年記念総会」御臨場等のため、福岡県へ行啓になる。関係警察では、所要の体制で警衛警備を実施することとしている。」旨の報告がなされた。

3 その他

( 1 ) 冒頭で、国家公安委員会委員長から、統一地方選挙に関連し、治安問題に言及する候補者が非常に増えていることなど、治安に対する国民の意識が高まっていること等の発言があった。

委員から、「委員長発言のとおり、国民の間に治安問題への関心の高まりが著しい。新年度になって、東京、愛知で組織犯罪対策部局が発足した。従来の専門組織と比べて運営上は一長一短があるのだろうが、時代が要求する課題の解決や縦割り組織の打破の観点から評価できる施策であるので、皆さんの努力を見守っていきたい。また、新年度となり各地で交番の新設も報じられている。いずれも3か年1万人増員計画により増員となって、研修を終えた警察官が配置されることで、このような現場強化の方向が行われつつあるものと思う。治安回復への国民の期待に応えて成果を出していただきたいものだ。」旨、発言があった。

( 2 ) 警察庁から、新潟県・柏崎刈羽原発において銃器対策部隊により実施している警戒警備を視察した状況等について報告がなされた。